

男女共同参画社会の実現をめざして

★男女共同参画とは？

「男女共同参画」は英語で Gender equality と言い、これは「ジェンダーの平等」と表現されます。「ジェンダー」とは、社会的性別を意味し、社会や地域の中で作られた「女性(男性)とはこういうもの(こうあるべき)」といったイメージや意識、考え方のことです。

男女共同参画とは、「男だから」「女だから」という固定的な考え方によって行動や考え方、生き方を制限されることなく、男女がよきパートナーとしてお互いに尊重しあい、性別にかかわらず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できるようにしよう、ということです。

★男女共同参画社会とは？

男性も女性も、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮でき、家庭、学校、地域及び職場などで支え合うことができる社会のことです。

★男女共同参画社会はなぜ必要なのか？

日本国憲法には「個人の尊重」と「法の下での平等」がうたわれており、男女平等の実現に向けて、いろいろな取組がなされてきています。しかし、実際の生活の中では男女間の不平等を感じている人が多く、特に男性優遇と感じる人の割合が大きく、まだたくさんの不平等が存在しているのが現状です。

その一つの要因として、「ジェンダー」の存在と「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担意識が根強く残っていることがあげられます。

「男だから、女だから」といった価値観を押し付けるのではなく、一人ひとりが性別に関わりなく誰もがその人らしく生きられ、お互いを尊重し、誰もが自分の能力を発揮するために幸せに生活できる社会の実現が必要となるのです。



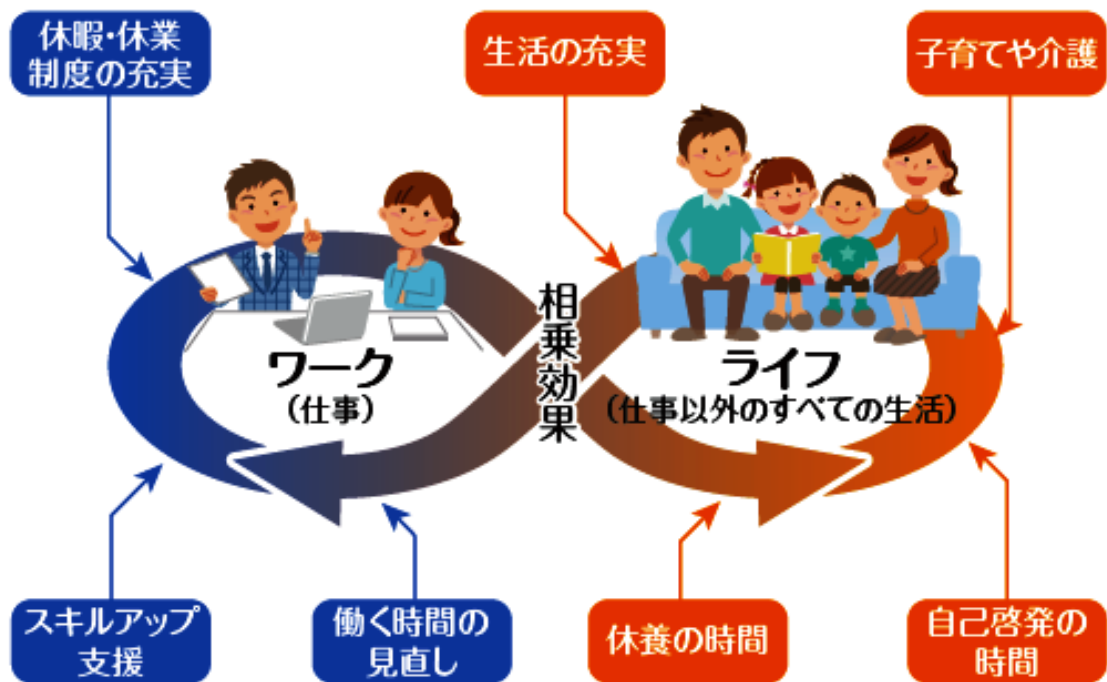
あらゆる分野で男女平等に輝ける社会

★男女共同参画社会が実現するためには？

男女共同参画を進めるには、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が大切です。仕事は暮らしを支え生きがいや喜びをもたらします。子育てや介護など、家庭や地域で過ごす時間に加え自分の時間を持つことも生活の上では欠かせず、それぞれの充実が人生の生きがいや喜びを充実させるとも言えます。

一人ひとりが健康で、安心して仕事・子育て・介護・自分の時間のバランスをうまくとっていくことのできる環境づくりが大切です。これが「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の実現です。

男女がともに仕事と子育てや介護など家庭生活を両立できる、働きやすい職場づくりを進めることが、少子高齢化が進むなか、ますます重要になっています。



★男女共同参画社会の実現に向けて身の回りから考えてみよう！

家庭では

- ・料理や掃除、育児、介護は女性がすべき
- ・男性が洗濯をしたり、スーパーで買い物したりするのは格好悪い
- ・性別で役割を決めていませんか？

家事や掃除、洗濯などの家事は生活に欠かせない仕事です。まして、ひとりきりで行うことは大変なことです。家族みんなで協力して行えば、会話等も弾み、家族の時間も有意義な時間となります。家族みんなで役割を分担して協力しましょう。



ひとりで頑張るより・・・



地域では

- ・自治会やPTA役員、防災活動は男性が務たり、男性中心なのが当たり前
- ・地域の清掃活動などは女性や高齢者に任せておけばよい
- ・男女の不平等につながる役割分担をしていませんか？

地域には様々な年代の人が暮らしています。自治会活動は地域の見守りや災害等での助け合い、ごみ集積所等の環境美化の活動などで地域住民の結びつきを深めながら住みやすいまちづくりを目指す団体です。自治会活動の日常的な活動(清掃活動等)は女性が行う、役員は男性がするものと決めつけていませんか。男性も女性も地域活動に関わり、男女が協力して参画しましょう。



作業や掃除、ごみ片付けは女性や
高齢者だけ・・・



女性の視点で考える災害・防災

近年、大規模災害が多発しております。災害時において女性や子ども、高齢者や障がい者など、脆弱な状況にある人々がより多くの影響を受けやすいといわれています。男女の違いや多様な被災者の視点に配慮することが重要です。年齢や性別など人によって生活必需品は異なります。非常時の持ち出しに必要なものを家族で準備しておきましょう。

※災害時、避難所で求められる男女共同参画の視点

- 男女別のトイレ、更衣室、授乳室や洗濯物の干し場所などの仕切りや犯罪対策
 - ・子どもや女性が昼夜問わず、安心して使用できるよう工夫する。
- 避難所の運営管理者に男女両方の配置や女性役員の登用
 - ・責任者にも女性を配置し、女性が声を上げやすい環境づくりをする。
 - ・女性や子どもに対する暴力等の予防をしましょう。
 - ・特定の活動(食事づくりや掃除等)が片方の性に偏るなど、性別や年齢等により役割が固定化することがないようにしましょう。
- 生理用品や下着など配布する際の配慮や相談や要望を伝えやすい環境づくり
 - ・女性用品は女性担当者から配布したり、女性専用のスペースやトイレに置くなど配布する工夫をしましょう。
 - ・男女のニーズの違いのほか、妊産婦、乳幼児、食事制限のある人など多様なニーズを把握し、物資の調達や供給をする。
 - ・男女両方の相談員を配置したり、被災者が要望を上げやすい環境づくりをする。



職場では

- ・女性は家庭があるため、仕事の時間は短く、責任の軽い仕事に携わるべき
- ・育児休業・介護休業は男性は取らないほうがいい
- ・営業は男性、事務は女性など性別によって仕事の内容を決めつけていませんか？

企画・計画や実施、評価まで、それぞれの過程に男女がともに参画することが重要です。男女がともに生き生きと働ける職場づくりは個人の意欲や能力はもとより、優秀な人材の確保、育成、定着につながるなどの企業にとってもメリットもあります。仕事だけでなく、仕事以外も充実できるような環境づくりをしましょう。



学校では

- ・赤のランドセルは女の子、青のランドセルは男の子が使うべき
- ・野球やサッカーは男の子がやるスポーツ
- ・青色は男性、赤色は女性や理系は男性、文系は女性などイメージで決めていませんか？

学校では男女関係なく子どもの個性や能力を伸ばすための取組を行っています。子どものころから、男女平等であるという意識を持つことが大切です。性別に縛られることなく、いろいろなことに挑戦しましょう。



以上のように、少子高齢化や産業構造の変化により、男女の役割や生き方も変わってきています。男性や女性を固定的なイメージで必要以上に区別することなく、お互いが対等なパートナーとして男性と女性が社会のあらゆる分野に共同で参画しましょう。



STOP DV

こんな経験はありませんか？

- 殴られたり、蹴られたり、髪の毛をひっぱられたりする
- 人格を否定するような暴言をあげられる
- 大声で怒鳴る
- 性的な行為を強要される(避妊に協力してくれない)
- 中絶を強要する
- 生活費をくれない
- 外出を制限される
- 交友関係を細かく監視される など

ひとりで悩まず、相談しましょう！！

◆とちぎ男女共同参画センター相談ルーム

TEL 028-665-8720 (平日9:00~20:00、土日9:00~16:00)

◆野木町役場 生活環境課 人権・協働推進係 TEL 0280-57-4132(平日 8:30~17:15)

LGBT、多様性について

★性のあり方を考える4つの要素

一般的に「性別」と聞くと「身体の性」をイメージすると思います。

男と女の2通りしかないと考えられがちですが、本来はもっと多様で、100人いたら100通りの性のあり方があります。

性のあり方は主に4つの要素の組み合わせからできていると考えられています。

1. からだの性(生物学的性)・・・生まれたときの身体的特徴などによる性
2. こころの性(性自認)・・・自分が認識する自分の性
3. 好きになる性(性的指向)・・・恋愛感情や性的な関心の対象となる性
4. 表現する性(性別表現)・・・服装、しぐさ、ことば遣いなど

★LGBTとは

L=(女性の同性愛)、G=ゲイ(男性の同性愛)、B=バイセクシャル(両性愛)、T=トランスジェンダー(身体的な性別に違和感を持つ状態)の頭文字をとって組み合わせたものです。

LGBTのうち、LGBは「好きになる性(性的指向)」に、Tは「こころの性(性自認)」に関わるものです。この他にも、性のあり方が自分でも分からない、決めたくない人(クエスチョニング)、こころの性が男性でも女性でもないと感じる人(Xジェンダー)、恋愛感情や性愛がどの性にも向かない人(アセクシャル)など、さまざまな性のあり方があります。さまざまな調査から、人口の約5%はLGBTと推定されています。LGBTについての知識を持ち、性の多様性を理解しましょう。

●相談窓口

◆みんなの人権110番 TEL:0570-003-110

◆よりそいホットライン TEL:0120-279-338(24時間 通話無料)



レインボーフラッグ